

**USER'S
MANUAL**

11Mbps 無線LAN コンパクトフラッシュアダプタ

GW-CF110

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

11Mbps 無線LAN コンパクトフラッシュアダプタ

GW-CF110

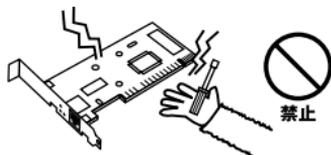
本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ!

製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



雷のときはさわらないで!

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



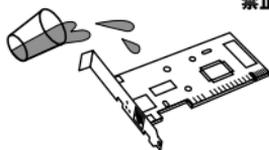
正しい電圧で使用して!

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物はいれなくて!

製品に液体や異物が付着すると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。万一異物や液体が入ってしまった場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



設置・保管場所をもう一度確認して!

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所、高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある場所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



ご使用前にお読み下さい

本製品は電波法で定められた小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を取得済みの製品です。そのため、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません。

法律により次の行為は禁止されています。

- ・改造および分解（アンテナ部分を含む）
- ・適合証明ラベルの剥離

- 1.本製品で使用する1～13チャンネルの周波数帯は、医療機器、電子レンジ等の産業・科学機器のほか工場の生産ライン等で使用される移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と重複しているため、電波の干渉による障害が発生する可能性があります。本製品の使用を開始する前に必ず本製品の干渉距離内に移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。本製品は、工場出荷設定で移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と干渉しない14チャンネルに設定されています。

使用周波数帯域 2.4GHz

変調方式 DS-SS方式

想定干渉距離 40m以下

周波数変更の可否 2400～2497.5GHzまでの帯域を使用し移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局で使用される帯域を回避可能

- 2.万一本製品から移動体識別用の構内無線局にたいして電波の干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更するか本製品の使用を中止してください。
- 3.その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

必ずお読みください

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第2章 アダプタのインストール

本製品をコンピュータに取り付ける際の手順について説明します。

第3章～第5章 ドライバインストール

本製品をそれぞれのパソコンで使用するためのドライバインストール手順を説明します。ご使用になるOSに合わせて該当する章をお読みください。

第3章: Windows CE

第4章: Windows 98/98 Second Edition/Me/2000

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B 仕様

本製品の仕様について説明します。

マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。Windows CE3.0のうちHandheld PC 2000を搭載した機種をハンドヘルドPCと、PocketPCを搭載した機種をポケットPCと表記します。また、それらを総称してモバイルPCと表記します。また、IBM PC/AT互換機をコンピュータと表記します。区別が必要な場合はそれぞれの名称で表記します。記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

本製品を安全にお使いいただくために	2
第1章 はじめに	
1.概要	7
2.特長	8
3.対応機種および対応OS	9
4.梱包内容の確認	9
5.各部の名称	10
第2章 アダプタのインストール	
1.モバイルPCへのアダプタ・インストレーション	13
2.CF-PCM2を使用したモバイルPC/コンピュータへの アダプタ・インストレーション	14
第3章 Windows CEでの使用手順	
1.ドライバのインストール	15
2.ネットワーク設定手順	19
3.アダプタの設定手順	22
第4章 Windows 98/98 Second Edition/Me/2000 での使用手順	
1.各OSへのドライバのインストール	33
2.インストールの確認	44
3.アダプタの取り外し	47
4.アダプタユーティリティのインストールと設定	48
付録A トラブルシューティング	63
付録B 仕様	69

はじめに

1 概要

本製品はコンパクトフラッシュType IIスロットを持つ、ハンドヘルドPC及びポケットPC上で使用可能なWireless LANアダプタです。

本製品を使用することでケーブルの配線、工事等を行うことなくネットワークの構築が可能になります。IEEE802.11およびIEEE802.11bに準拠し伝送速度は、11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsに対応しています。アクセスポイントを使用するインフラストラクチャモードや端末同士で通信出来るアドホックモードをサポートしローミング機能によりアクセスポイント間を移動してもアクセスポイントを再認識させることなく使用可能です。またESSIDやWEPなどの機能を使用する事によりより堅牢なセキュリティを保つことが出来ます。

また、オプションのコンパクトフラッシュアダプタ(CF-PCM2)を使用することで、PCMCIAスロットを備えたIBM PC/AT互換機(DOS/V)上でも使用可能です。

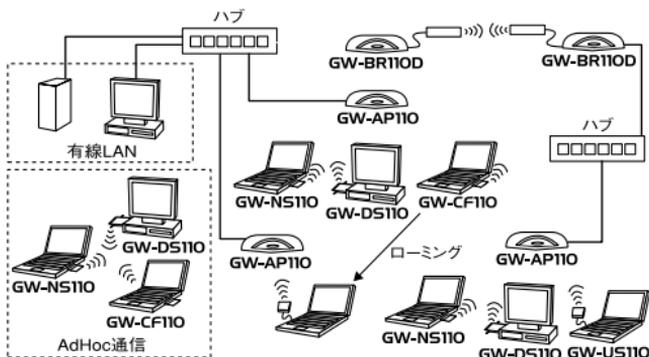


図1-1 ワイヤレスLAN構築図

2 特長

- IEEE802.11/802.11b準拠
- コンパクトフラッシュスロット Type II準拠
- PCMCIA 2.0/2.1 PC カード標準と互換性があるコンパクトフラッシュ規格 rev.1.4準拠
- ARIB STD-33A/STD-T66準拠
- ノイズに強いDS-SS方式
- 2.4GHz周波数帯を使用
- 14チャンネルサポート
- 11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsを自動認識
- ESSIDおよびWEP機能により堅牢なセキュリティを実現
- 11Mbps時30m 5.5/2/1Mbps時90mまでの通信が可能(屋内使用時、見通し距離)
- PIFAアンテナ採用
- 通信状況が簡単に確認出来る2つのLEDを装備
- 異なるアクセスポイント間を移動可能なローミング機能に対応
- セットアップユーティリティ付属
- オプションのPCMCIA変換アダプタを使用することでPCカードとしても使用可能

3 対応機種および対応OS

GW-CF110の対応OSは以下のようになっています。

< WindowsCE機 >

WindowsCE3.0 PocketPC

WindowsCE3.0 Handheld PC2000

< PC/AT互換機 >

Windows98

Windows98SecondEdition

WindowsMe

Windows2000

4 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

GW-CF110 11Mbps無線LANコンパクトフラッシュアダプタ
ドライバ&ユーティリティCD-ROM 1枚
このユーザーズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

5 各部の名称

GW-CF110にはコンピュータに接続するための50ピンコネクタとデータを受信するためのアンテナ部があります。

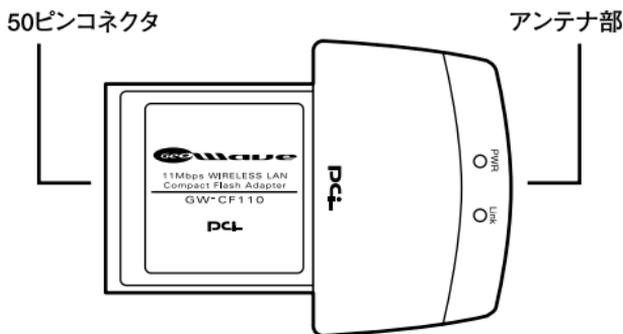


図1-1 GW-CF110前面パネル

本製品本体には、2つのLEDインディケータを備えています。

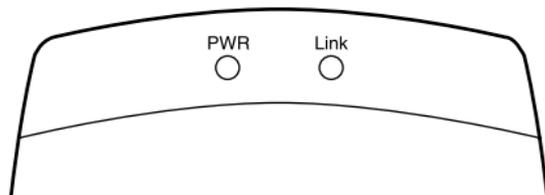


図1-2 GW-CF110 LED

「PWR」

本製品に電源が供給された場合に点灯します。電源が供給されていない時は消灯します。

「Link」

ワイヤレスネットワークが確立された場合に点灯します。確立されていない場合は点滅します。

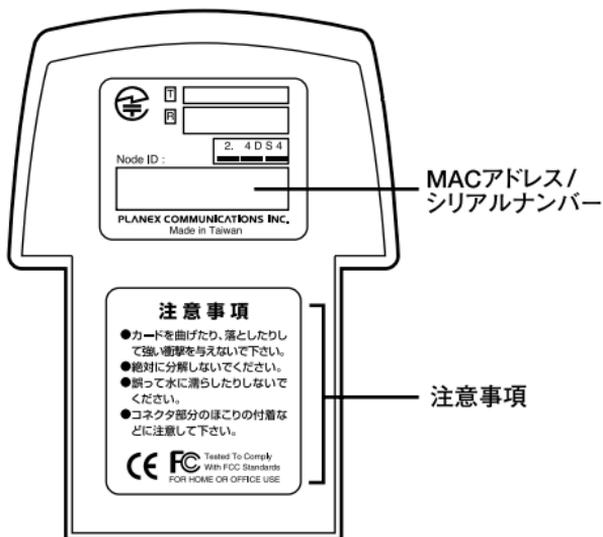


図1-3 カード裏面

「注意事項」

本製品使用時の注意事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。

「MACアドレス」

本製品に固有のNode ID (MACアドレス) が記載されています。

「シリアルナンバー」

本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

1

はじめに

アダプタのインストール

2

インストール
シヨ
ン

本章ではモバイルPCへのアダプタのインストール方法およびネットワーク・ケーブルの接続について説明します。アダプタのインストールは以下の手順で行います。

1 モバイルPCへのアダプタ・インストール

本製品のラベル面を上にしてモバイルPCの空いているコンパクトフラッシュスロットに挿入します。

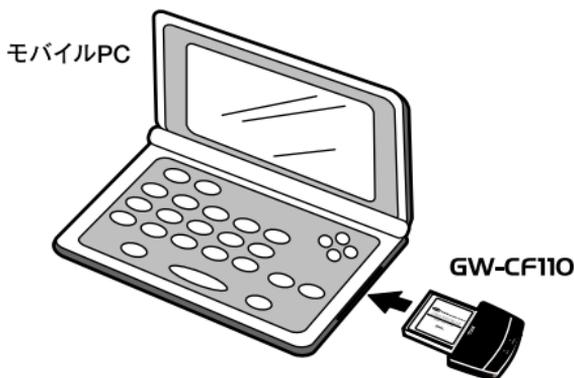


図2-1 コンパクトフラッシュスロットへの挿入

⚠ 注意

通常は本製品のラベル面を上にしてモバイルPCに挿入しますが、モバイルPCの機種によってはラベル面が下になる場合もあります。お使いのモバイルPCのマニュアルをご確認ください。

CF-PCM2を使用したモバイルPC/コンピュータへのアダプタ・インストール

本製品は専用オプションのコンパクトフラッシュアダプタ CF-PCM2 を使用する事で、PCカード (Type II PCMCIA) としても使用できます。

1. 本製品の50pinコネクタ側をCF-PCM2の50pinコネクタに挿入します。
2. CF-PCMの68pinコネクタ側からモバイルPC/コンピュータのPCカードスロットに挿入します。

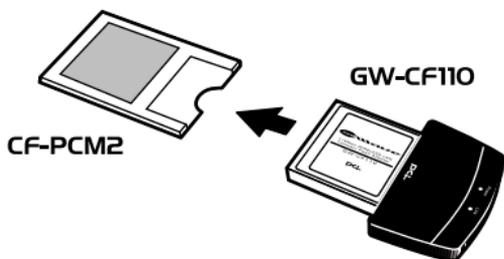


図2-2 オプション取り付け図

Windows CEでの使用手順

ここでは、本製品をWindows CEで使用する場合のドライバのインストール方法及び設定方法について説明します。

1 ドライバのインストール

ここではドライバのインストール手順を説明します。

注意

ドライバーのインストールにはご使用になられるモバイルPCとパートナー関係を結んだWindows 98/Me/2000の動作するコンピュータが必要になります。

1. モバイルPCとコンピュータをモバイルPCに付属のシリアルケーブルまたはUSBケーブル接続します。コンピュータとモバイルPCをWindows CEサービスを利用して通信状態にします。

注意

モバイルPCとコンピュータの接続及びWindows CEサービスについては、モバイルPCのマニュアルを参照してください。

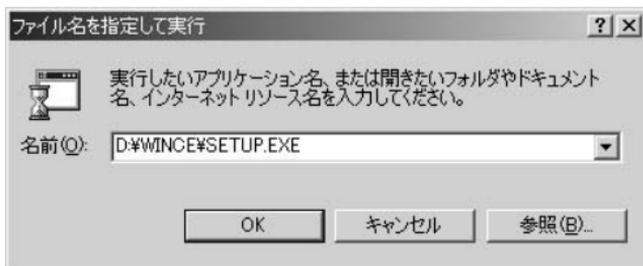
2. コンピュータのCD-ROMドライブに本製品付属のドライバ&ユーティリティーCD-ROMを挿入します。
3. コンピュータの「スタート」メニューから、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

4. 「名前」に、

D : ¥WINCE¥SETUP.EXE

(CD-ROMドライブがDドライブの場合)

と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



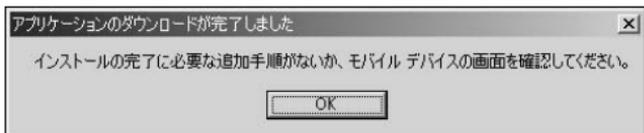
5. ドライバのセットアップユーティリティが起動します。 [次へ]をクリックします。



6. 「規定のアプリケーション セットアップ ディレクトリに “PLANEX GW-CF110 Wireless LAN Card” をインストールしますか？」とメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。



7. ドライバのインストールが開始されます。「インストールの完了に必要な追加手順がないか、モバイルデバイスの画面を確認してください。」とメッセージが表示されますので [OK] をクリックしてください。



8. インストールが完了し、「ドライバのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されます。[完了] をクリックして、インストーラーを終了します。



9. モバイルPCをリセットします。リセット手順については各モバイルPCのマニュアルを参照してください。

 **注意**

誤ってモバイルPCの初期化を行わないように注意してください。リセットと初期化については各モバイルPCのマニュアルを参照してください。

2 ネットワーク設定手順

ここでは、本製品のネットワーク設定手順について説明します。

1. ハンドヘルドPCから、「スタート」メニューをタップし、「設定」から「コントロールパネル」アイコンをタップして開きます。ポケットPCでは「スタート」メニューから「設定」をタップし、「接続」タブを開きます。
2. 「ネットワーク」アイコンをタップします。ネットワーク接続ウィンドウが表示されます。
3. 「アダプタ」タブを開き、アダプタのリストから「GW-CF110 Wireless LAN Card」をタップします。



4. TCP/IPの設定画面が表示されますので、「IPアドレス」タブを開きます。IPアドレスをDHCPサーバから自動取得する場合には「サーバが割り当てたIPアドレスを使用する」をタップします。IPアドレスを固定で割り当てる場合には、「指定したIPアドレスを使用する」をタップしてから、「IPアドレス」「サブネットマスク」「既定のゲートウェイ」の各値を入力します。

設定 16:18 ok

GW-CF110 Wireless LAN Card

サーバが割り当てた IP アドレスを使用する

指定した IP アドレスを使用する

IP アドレス: 192.168.1.228

サブネット マスク: 255.255.255.0

既定のゲートウェイ: 192.168.1.1

IP アドレス ネーム サーバー

A | ▶

5. TCP/IPの設定画面から「ネームサーバー」タブを開きます。「プライマリDNS」の値を設定します。ネットワーク経由で、パートナー関係をつんだコンピュータと同期を取る場合には、「プライマリWINS」にコンピュータのIPアドレスを入力します。

設定 16:18 ok

GW-CF110 Wireless LAN Card

DHCP をこのアダプタで有効にすると、ネームサーバー アドレスが自動的に割り当てられる可能性があります。

プライマリ DNS:

セカンダリ DNS:

プライマリ WINS:

セカンダリ WINS:

IP アドレス ネーム サーバー

A | ▲

▲ 注意

IPアドレスやネームサーバーの設定はネットワーク管理者に相談して行ってください。

6. 「OK」をタップしてTCP/IPの設定画面を閉じます。本製品をモバイルPCのコンパクトフラッシュスロットに挿入します。すでに本製品を取り付けている場合は、一旦取り外してから再度コンパクトフラッシュスロットに挿入します。以上でネットワーク設定は終了です。

3 アダプタの設定手順

GW-CF110のドライバにはアダプタの診断および設定ユーティリティが含まれます。このユーティリティには以下の機能を提供します。

GW-CF110の現在の構成を表示します。

GW-CF110のワイアレスネットワーク設定を行います。

1. ハンドヘルドPCから、「スタート」メニューをタップし、「設定」から「コントロールパネル」アイコンをタップして開きます。ポケットPCでは「スタート」メニューから「設定」をタップし、「接続」タブを開きます。
2. 「GW-CF110 Utility」アイコンをタップします。「GW-CF110 Utility」が起動します。
3. 「GW-CF110 Utility」では各タブ事に以下の設定と情報表示が行えます。

「通信速度」

現在の通信速度が表示されます。通信速度は11Mbps、5.5Mbps、2Mbps、1Mbpsがあります。

「MACアドレス」

本製品のMACアドレスが表示されます。

「接続先AP」

インフラストラクチャモードでの動作時に接続しているアクセスポイントのESS IDが表示されます。

「BSS ID」

現在接続している相手先のMACアドレスです。

「通信品質」

現在の通信品質をメーターで表示します。通信品質は電波強度の中でどの程度ノイズが少ないかを表します。

「電波強度」

現在、使用している周波数帯のアクセスポイントから出ている電波のうちの受け取れている量を表示します。

設定

ここでは本製品の無線通信の設定を行います。

GW-CF110 Utility 16:12

情報 設定 テスト WEP バージョン

ESSID

設定しない:

設定する:

ネットワークタイプ

インフラストラクチャ 802.11アドホック

アドホック チャンネル

省電力

無効にする 有効にする

通信速度:

A

「ESS ID」

ESS IDを指定することによりワイヤレスLANグループを作成する事が可能になります。ESS IDを指定した場合は同じIDをもつコンピュータまたはアクセスポイントしか通信が出来ません。

ESS IDを設定する場合は「ESSIDを使用する」をチェックしてESS IDを入力してください。設定しない場合は「ESSIDを使用しない」ラジオボタンをチェックします。

注意

ESS IDは32文字以内の半角英数字で指定します。

「ネットワークタイプ」

ワイヤレスLANネットワークには、通常アクセスポイントを使用してそれぞれの端末が通信をおこなうインフラストラクチャモードまたはアクセスポイントを使用せずにそれぞれの端末同士が通信をおこなうアドホックモード及びIEEE802.11アドホックモードがあります。

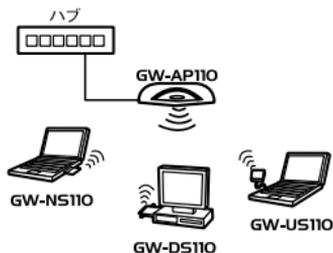


図3-1 インフラストラクチャモード



図3-2 アドホックモード

インフラストラクチャモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は「インフラストラクチャ」ラジオボタンをチェックしてください。

アドホックモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は、「アドホックモード」ラジオボタンをチェックするか「IEEE802.11アドホック」ラジオボタンをチェックしてください。

それぞれのアドホックモードは以下の違いがあります。使用されるネットワーク環境に合わせて適切な設定を行ってください。

ネットワークタイプ	アドホック	IEEE802.11アドホック
ESS ID	設定必要無し	設定必要あり
チャンネル	設定必要あり	設定必要無し

「チャンネル」

使用されるネットワーク環境に合わせてチャンネルを設定してください複数のチャンネルが混在する環境で使用される場合は必ず各チャンネルの間を3つ以上空けてください。インフラストラクチャモード時はアクセスポイントのチャンネルに自動的に合わせます。

「省電力設定」

省電力機能を有効に設定する場合は「省電力」を設定しない場合は「通常電力」をチェックしてください。

「通信速度」

送信速度を設定することが出来ます。AutoRate, 1Mbps, 1/2Mbps, 2Mbps, 5.5Mbps, 11Mbpsから選択可能です。ワイヤレスLANでは、転送速度が遅いほど転送距離が伸びパケットの損失率は下がります。アクセスポイント、端末までの距離が長い、または無線に適していない環境の場合は転送速度を調整する事により最適なパフォーマンスを発揮することが可能になります。

設定が終了したら[変更]ボタンをタップして、設定を有効にします。[初期値]ボタンをタップすると初期設定に戻ります。

テスト

ここではPingコマンドによる通信テストが行えます。

The screenshot shows the 'GW-CF110 Utility' application window. The title bar includes the application name, the time '16:12', and an 'ok' button. The interface has several tabs: '情報' (Info), '設定' (Settings), 'テスト' (Test), 'WEP', and 'バージョン' (Version). The 'テスト' (Test) tab is selected. Under this tab, there are three main sections: 'Pingコマンド' (Ping Command), 'テスト結果' (Test Results), and 'リンク状態' (Link Status). The 'Pingコマンド' section contains a text input field for '送信先' (Destination), and two dropdown menus for 'Timeout' (set to 1000) and 'Size' (set to 0032). The 'テスト結果' section contains input fields for '送信元' (Source IP, set to 192.168.1.228), '送信' (Send), '経過時間' (Elapsed Time), and '受信' (Receive). The 'リンク状態' section contains two empty text input fields. At the bottom of the window, there are two buttons: '開始' (Start) and '終了' (End). A status bar at the very bottom shows the letter 'A' and a cursor arrow.

「送信先」

Pingコマンドの送信先のIPアドレスを入力します。

「Timeout」

本製品からEchoを送信してからここで設定した時間内にReplyを受信しない場合にはタイムアウトになります。

「Size」

Pingコマンドによる送信パケットサイズを指定します。

[開始]ボタンをタップするとPingを送信し始めます。[終了]ボタンをタップするとPingを停止します。

「送信」

Pingの送信パケット数が表示されます。

「受信」

Pingの受信パケット数が表示されます。

「経過時間」

Pingを開始してからの経過時間です。

WEP

ここではWEPによる暗号化の設定を行います。

The screenshot shows the 'WEP' configuration window of the GW-CF110 Utility. The window title is 'GW-CF110 Utility' with a clock showing '16:13' and an 'ok' button. The window has several tabs: '情報' (Info), '設定' (Settings), 'テスト' (Test), 'WEP', and 'バージョン' (Version). The 'WEP' tab is active. The configuration options are as follows:

- WEP:** Radio buttons for '無効' (Disabled) and '有効' (Enabled). '無効' is selected.
- 暗号モード (Encryption Mode):** Radio buttons for '40' and '128-bit'. '40' is selected.
- WEPキータイプ (WEP Key Type):** Radio buttons for '文字列' (Text) and '16進数' (Hexadecimal). '文字列' is selected.
- 確認方式 (Authentication Method):** A dropdown menu currently showing 'Open System'.
- キー設定 (Key Settings):** Four radio buttons labeled 'Key 1' through 'Key 4'. 'Key 1' is selected. Each key has a corresponding text input field containing six asterisks (*****).

At the bottom of the window, there are two buttons: '更新' (Update) and '戻す' (Reset). The bottom status bar shows 'A' and a cursor arrow.

「WEP」

WEP機能は、キーワードを暗号化して転送データにスクランブルをかける機能です。この機能を有効に設定するとより高いセキュリティを使用したネットワークを実現することが可能です。WEP機能有効時には、グループ内の全てのコンピュータが同じ暗号キーを使用する必要があります。WEP機能を利用する場合には[有効]に、利用しない場合には[無効]にチェックします。

「WEPキータイプ」

キー設定で入力するモードを選択します。文字列の場合は、キーを半角英数で5文字(40bit)または13文字(128bit)入力します。16進数の場合はキーを16進数で10桁(64bit)または26桁(128bit)入力します。

「暗号モード」

暗号のキー長を設定します。WEPキーには40ビット長キーと128ビット長キーの二種類があります。使用される環境にあわせてリストボックスから「40bit」または「128bit」を選択してください。

「キー設定」

キーを十六進数で0~9、A~F、a~fの間で入力します。64ビットの場合は4つまでキー文字列を作成可能です。64ビットで作成した場合は使用するキー番号にチェックします。128ビットの場合はキー1に登録します。

設定が終了したら[更新]ボタンをタップして、設定を有効にします。[更新]ボタンをタップしないで[戻す]ボタンをタップすると設定が戻ります。[更新]ボタンをタップした直後から設定が有効になります。

バージョン



「Driver Version」

現在インストールされているドライバのバージョンが表示されます。

「Utility Version」

現在インストールされているユーティリティのバージョンが表示されます。

4. [OK] をタップすると「GW-CF110 Utility」が終了します。以上でアダプタの設定は終了です。

Windows 98/98 Second Edition/Me/2000での使用手順

ここでは、本製品をWindows 98/98 Second Edition/Me/2000を搭載したコンピュータで使用する場合のドライバのインストール方法及び設定方法について説明します。

1 各OSへのドライバのインストール

1. オプションのCF-PCM2を取り付けた本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。
2. 各OS事に以下の手順でドライバをインストールします。

Windows 98/98 Second Edition

1. Windows 98起動時に本製品が自動的に認識され、「デバイスドライバウィザード」ウィンドウが表示されます。[次へ]をクリックします。



2. [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。



3. 検索場所を指定するウィンドウが表示されるので、[検索場所の指定]のみをチェックし、D:¥WIN9x(CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力します。他の項目からはチェックを外します。



4. コンピュータのCD-ROMドライブに本製品付属のドライバ&ユーティリティ-CD-ROMを挿入し、[次へ]をクリックします。
5. 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」と表示されます。「次へ」をクリックします。



6. ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピー中に Windows 98 CD-ROM上のファイルを要求するメッセージが表示された場合は、Windows 98の CD-ROMをセットし、ディレクトリ名を入力してください。(例: CD-ROMドライブがDドライブの場合は d:¥win98 と入力します。また Windows 98プリインストールのコンピュータではc:¥windows¥options¥cabsと入力します。)
7. ファイルのコピー中に以下のいずれかのファイルを要求するメッセージが表示された場合は、本製品付属のドライバ&ユーティリティーCD-ROMセットし、フォルダ名に D:¥WIN98(CD-ROMドライブがDドライブの場合) と入力します。

CF110.SYS

CF110.INF

8. 「GeoWave/GW-CF110 Wireless LAN Cardのプロパティ」が開きますので [OK] をクリックします。



9. しばらくすると「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されます。ここで [完了] をクリックします。



10. コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。ドライバディスクをドライブから取り出し、[はい]をクリックしてコンピュータを再起動します。以上でドライバのインストールは終了です。

Windows Me

1. Windows Meの起動時に本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。
2. 「適切なドライバを自動的に検索する」にチェックを入れ、コンピュータのCD-ROMドライブに本製品付属のドライバ&ユーティリティCD-ROMを挿入し、[次へ]をクリックします。



3. ドライバの検索が開始され、自動的にインストールされます。ファイルのコピー中に以下のいずれかのファイルを要求するメッセージが表示された場合は、本製品付属のドライバ&ユーティリティーCD-ROMセットし、フォルダ名に D:¥WIN9x (CD-ROMドライブがDドライブの場合) と入力します。

CF110.SYS
CF110.INF

4. 「GeoWave/GW-CF110 Wireless LAN Cardのプロパティ」が開きますので [OK] をクリックします。



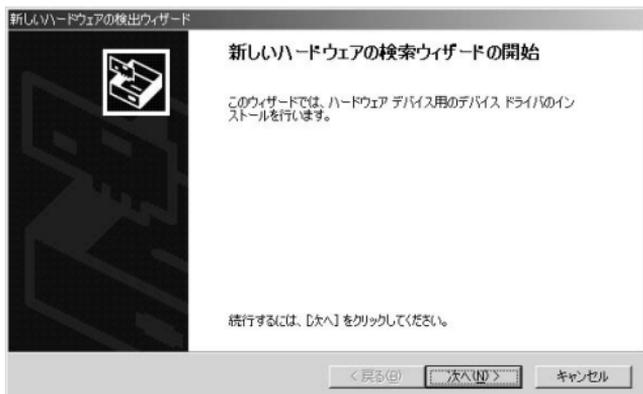
5. インストールが終了するとウィザードの終了メッセージが表示されますので[完了]をクリックします。



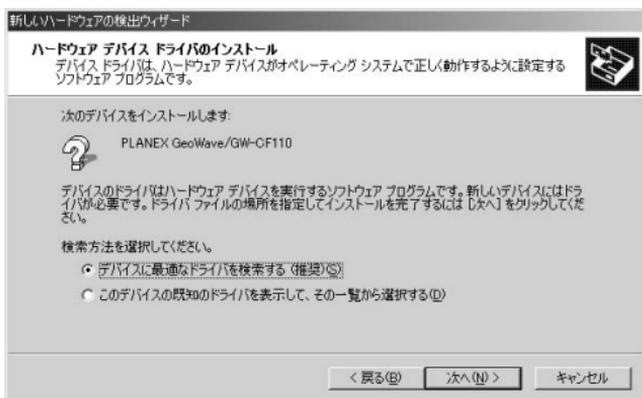
6. 再起動のメッセージがでますので、「はい」をクリックして再起動します。以上でドライバのインストールは終了です。

Windows 2000

1. Windows 2000起動時に本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が開始されます。[次へ]をクリックします。



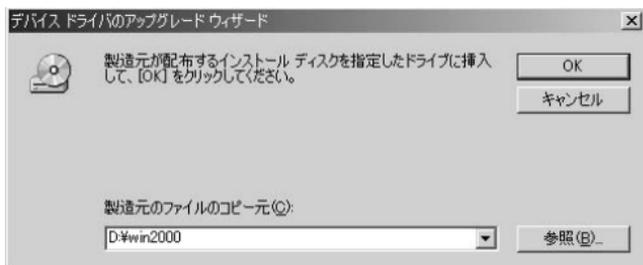
2. [デバイスに最適なドライバを検索する] を選択し、[次へ] をクリックします。



3. 検索場所を指定するウィンドウが表示されるので、[場所を指定] にのみチェックし、他の項目からはチェックを外します。コンピュータのCD-ROMドライブに本製品付属のドライバ&ユーティリティ-CD-ROMを挿入し、[次へ] をクリックします。



4. 「製造元のファイルのコピー元」を聞かれますので、D:¥WIN2000 (CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力して [OK] をクリックします。



5. ドライバファイルの検索が終了すると下のウィンドウが開きます、[次へ] をクリックします。



6. 「デジタル署名が見つかりませんでした」というウィンドウが開きます。[はい]をクリックします。ドライバのインストールが始まります。



7. ドライバのインストールが終了すると「新しいハードウェアの検索ウィザードの終了」が表示されますので、[完了]をクリックします。以上でドライバのインストールは終了です。



2 インストールの確認

ドライバのインストールが終了したら、下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

1. [マイコンピュータ]を開き、そこから[コントロールパネル]を開きます。
2. [システム]を開き、[システムのプロパティ]から[デバイスマネージャ]タブを開きます。Windows 2000の場合には[システムのプロパティ]から[ハードウェア]タブを開き、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

3. デバイスマネージャが表示されますので、[ネットワークアダプタ]の左の[+]をクリックして、「GeoWave/GW-CF110 Wireless LAN Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「GeoWave/GW-CF110 Wireless LAN Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから4-1の手順で再度ドライバをインストールします。



4. 「GeoWave/GW-CF110 Wireless LAN Card」を選択して[プロパティ]をクリックします。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。

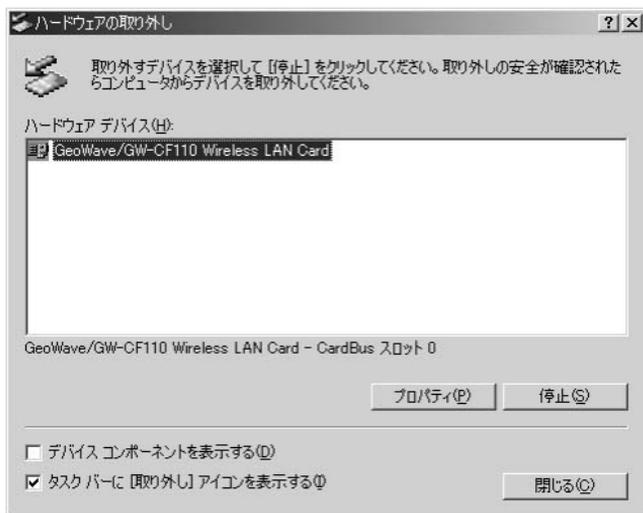


3 アダプタの取り外し

1. ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いている場合はすべて閉じます。また、ネットワークにアクセスしている場合は、アクセスが終了するまで待ちます。
2. 画面右下のタスクトレイに表示されている、PCカードアイコンをダブルクリックします。



3. 「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」が開きます。
「GeoWave/GW-CF110 Wireless LAN Card」をクリックし、[停止] ボタンをクリックします。Windows 2000の場合は再度「ハードウェアの取り外し」ウィンドウが開きますので、「GeoWave/GW-CF110 Wireless LAN Card」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



4. 「このデバイスは安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。[OK]をクリックします。



5. 本製品をコンピュータのPCカードスロットから取り外します。

注意

上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

4 アダプタユーティリティのインストールと設定

GW-CF110のドライバ&ユーティリティCD-ROMにはアダプタの診断および設定ユーティリティが含まれます。このユーティリティには以下の機能を提供します。

GW-CF110の現在の構成を表示します。

GW-CF110のワイアレスネットワーク設定を行います。

GW-CF110の基本的機能の診断を行います。

新しいファームウェアをGW-CF110にダウンロードします。

アダプタユーティリティのインストール

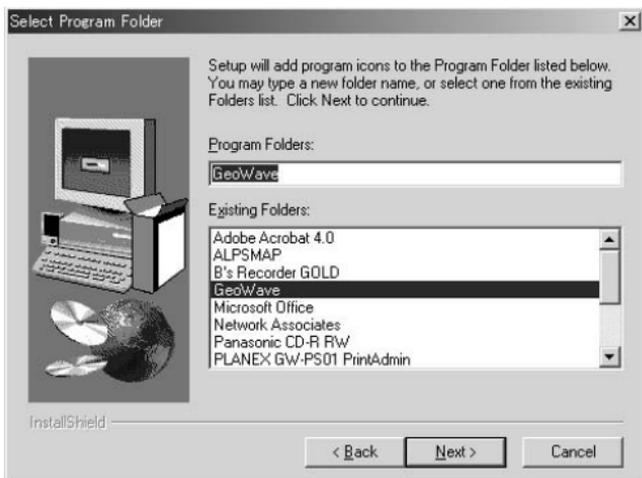
1. 本製品に付属のドライバ&ユーティリティCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。
2. 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「名前」に D:\UTILITY\SETUP.EXE と入力して「OK」ボタンをクリックします。



3. インストーラが起動してインストール先のパスを指定するウィンドウが表示されます。インストール先のパスを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックします。続行する場合は、「次へ」ボタンをクリックします。



4. プログラムフォルダリストに追加するフォルダ名を指定するウィンドウが表示されます。変更される場合は、新しいフォルダ名を入力してください。続行する場合は、「Next」ボタンをクリックします。

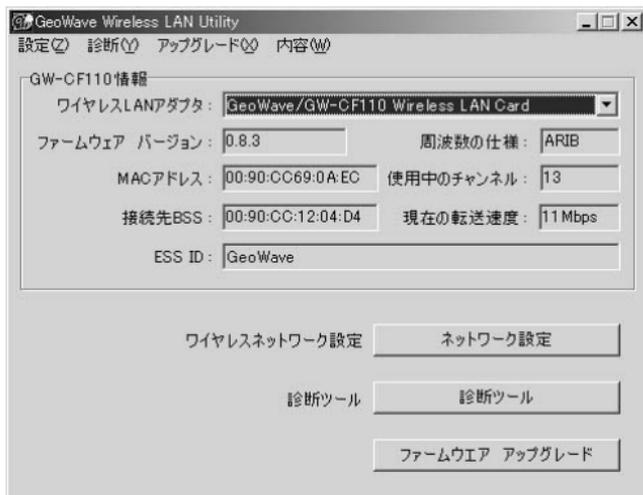


5. 「Setup Complete」ウィンドウが表示されたら「Finish」ボタンをクリックします。これでインストールは、完了です。



GW-CF110 Utilityを使用する

「スタート」メニューの「プログラム」から「Geo Wave Wireless Lan Utility」フォルダを開いてください。フォルダ内の「GW-CF110 Utility」アイコンをダブルクリックしてユーティリティを起動します。以下のメインウィンドウが表示されます。



GW-CF110の現在の構成を表示します。
ウィンドウ上部には、現在の設定情報が表示されます。

「ワイヤレスLANアダプタ」

使用中のワイヤレスLANアダプタの名称です。

「ファームウェア バージョン」

使用中のファームウェアバージョンです。

「周波数ドメイン」

使用周波数のドメイン名です。本製品は、日本のレギュレーションに適合しているため「TELEC」と表示されます。

「MACアドレス」

本製品に設定されているMACアドレスが表示されます。

「接続先BSS」

接続先のアクセスポイントのMACアドレスが表示されます。

「使用中のチャンネル」

現在使用中のチャンネル番号が表示されます。

「ESS ID」

現在設定されているESS IDが表示されます。

GW-NS110のワイヤレスネットワーク設定を行います。メインウィンドウから「ワイヤレスネットワーク設定」ボタンをクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



「ESS IDの設定」

ESS IDを設定することによりワイヤレスLANグループを作成する事が可能になります。ESS IDを設定した場合は同じIDをもつコンピュータまたはアクセスポイントしか通信が出来ないためセキュリティとしても機能します。

ESS IDを設定する場合は「設定する」をチェックしてESS IDを入力します。設定しない場合は「設定しない」をチェックします。

「ネットワークタイプの設定」

ワイヤレスLANネットワークには、通常アクセスポイント使用してそれぞれの端末が通信をおこなうインフラストラクチャモードまたはアクセスポイントを使用せずにそれぞれの端末同士が通信をおこなうアドホックモードとIEEE802.11アドホックモードがあります。

インフラストラクチャモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は「アクセスポイントを使用する(インフラストラクチャ)」をチェックします。

アドホックモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は、「アドホックモード」をチェックするか「IEEE802.11アドホック」をチェックします。「アドホックモード」でワイヤレスネットワークを構築する場合は「チャンネル設定」リストボックスから使用するチャンネル番号を選択します。

それぞれのアドホックモードは以下の違いがあります。使用されるネットワーク環境に合わせて適切な設定を行います。

ネットワークタイプ	アドホック	IEEE802.11アドホック
ESS ID	設定必要無し	設定必要あり
チャンネル	設定必要あり	設定必要無し

「フラグしきい値」

ここで設定された値を超えるパケット全てを設定されたサイズに分割して転送します。これによりグループ内の他のコンピュータが通信出来る確立がより高くなります。大きいファイルサイズを頻繁に転送する場合は、無効に設定します。

「無効にする」ラジオボタンをチェックするとフラグしきい値を設定しません。

「有効にする」ラジオボタンをチェックするとフラグしきい値を設定します。32～2400の間でスライダを設定します。

「省電力機能」

省電力機能を設定することができます。

「無効にする」省電力機能を無効に設定します。

「有効にする」省電力機能を有効に設定します。

「伝送速度」

伝送速度を設定することが出来ます。Auto/1/2/5.5/11Mbpsから選択可能です。ワイヤレスLANでは、転送速度が遅いほど伝送距離が伸びパケットの損失率は下がります。アクセスポイント、端末までの距離が長いまたは無線に適していない環境の場合は伝送速度を調整する事により最適なパフォーマンスを発揮することが可能になります。リストボックスから選択可能な速度は以下の通りです。

< Fixed 1Mb/s >

伝送速度を1Mb/sに固定します。

< Fixed 2Mb/s >

伝送速度を2Mb/sに固定します。

< Auto Select 1 or 2Mb/s >

伝送速度を1又は2Mb/sから自動的に選択します。

< Fixed 5.5Mb/s >

伝送速度を5.5Mb/sに固定します。

< Fixed 11Mb/s >

伝送速度を11Mb/sに固定します。

< Fully Auto >

伝送速度を自動的に選択します。

「WEP (Wired Equivalent Privacy) の設定」

WEP機能は、キーワードを暗号化して転送データにスクランブルをかける機能です。この機能を有効に設定するとより高いセキュリティを使用したネットワークを実現することが可能です。WEP機能有効時には、グループ内の全てのコンピュータが同じ暗号キーを使用する必要があります。以下の手順でWEP機能を設定します。

1. 「有効にする」ラジオボタンをチェックします。「暗号キー」ボタンがクリック可能になります。「暗号キー」ボタンをクリックしてください。以下のウィンドウが表示されます。



2. 「パスワード」にキーワードを入力します。入力可能な文字列は英数字、10文字以内です。
3. 「作成」ボタンをクリックしてください。「キー1」から「キー4」までのボックスに入力されたキーワードを元にした暗号キーが表示されます。
4. 「初期設定キー」リストボックスに作成された4個のキーから使用するキーの番号を選択します。
5. 「OK」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

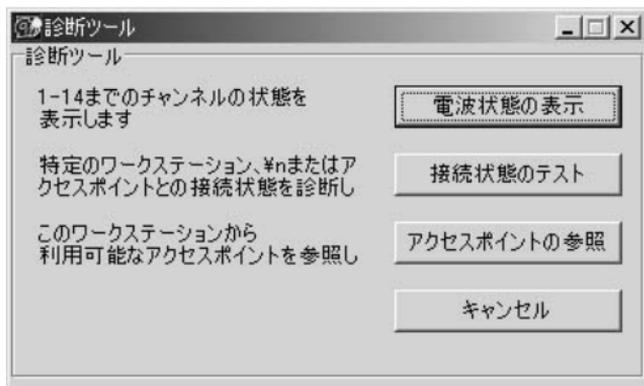
「初期値」ボタン

全ての設定を初期設定に戻します。

全ての設定が完了したら「変更」ボタンをクリックします。
全ての設定は、「変更」ボタンを押した直後に有効になります。

GW-CF110の基本機能の診断を行います。

本ユーティリティは、各チャンネルの電波状態をグラフで表示可能なサイトサーベイや、特定のステーションまたはアクセスポイントとの通信テスト、使用可能なアクセスポイントの参照などの機能を装備しています。メインウィンドウから「診断ツールボタン」をクリックします。以下のウィンドウが表示されます。



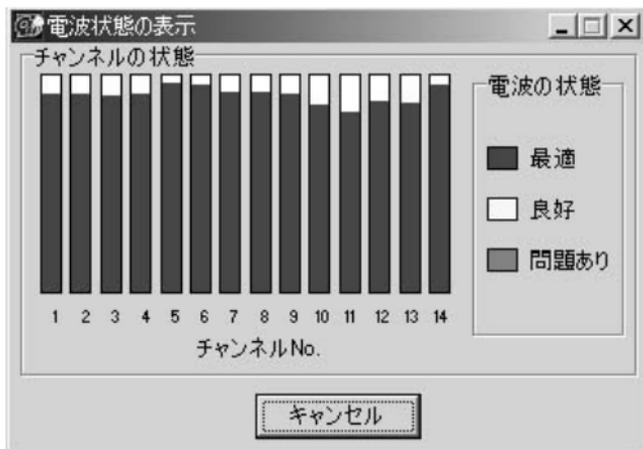
「[電波状態の表示] ボタン」

各チャンネルの電波状態をグラフで表示することが可能です。
バーの高さ色は、混信や干渉等のクオリティを表します。

青：最適

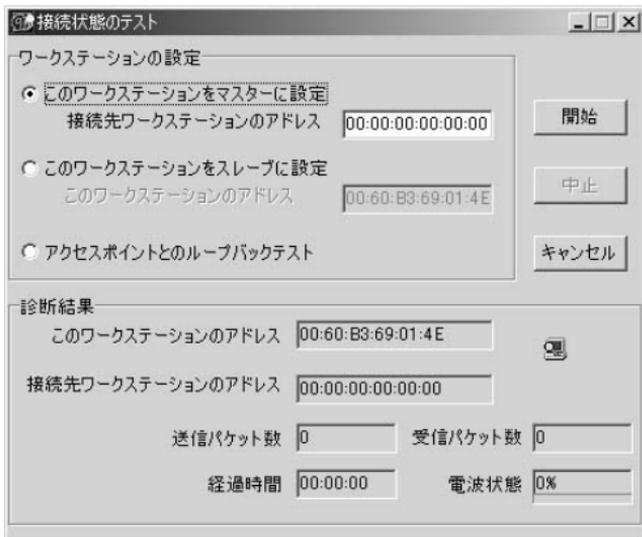
黄：良好

赤：問題あり



「[接続状態のテスト] ボタン」

特定の端末またはアクセスポイントと接続状態のテストを行います。端末同士の接続状態のテストを行うにはマスター、スレーブに設定した2台のコンピュータが必要です。使用するコンピュータをマスター、スレーブのいずれかに設定します。「接続状態のテスト」ボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます。



「[このワークステーションをマスターに設定] ラジオボタン」

使用するコンピュータをマスターに設定します。「接続先ワークステーション」にスレーブに設定する端末のMACアドレスを入力します。

「[このワークステーションをスレーブに設定] ラジオボタン」

使用するコンピュータをスレーブに設定します。

「[アクセスポイントとのループバックテスト] ラジオボタン」

特定のアクセスポイントとのループバックテストをおこないます。

「[開始] ボタン」

設定された条件で通信テストを開始します。テスト結果は、ウィンドウの下側の「診断結果」欄に表示されます。

「[アクセスポイントの参照] ボタン」

利用可能なアクセスポイントの参照を行います。「アクセスポイントの参照」ボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます。検索を開始するには、「参照」ボタンをクリックしてください。



トラブルシューティング

1ここでは本製品のインストール時に発生する代表的な問題点とその対応方法について説明します。

Windows CE

ドライバのインストールが出来ない。

本製品のドライバをWindows CEにインストールするには、Windows CE機とパートナー関係を結んだDOS/V機と接続状態にする必要があります。Windows CE機とDOS/V機が正しく接続されているか確認してください。

ドライバが正常にインストールされているがLINK LEDが点灯しない。

ネットワークタイプが正しく設定されて無い場合があります。接続したい相手に合わせたネットワークタイプを選択してください。アクセスポイントが接続先の場合にはインフラストラクチャモードに、コンピュータが接続先の場合にはアドホックモードに設定してください。

通信速度が合っていない場合があります。通信速度が接続先と同じ設定になっているか確認してください。

チャンネルが合っていない場合があります。アドホックモードの場合には通信相手と同じチャンネルに設定する必要があります。同じチャンネルに設定されているか確認してください。

(次ページに続く)

WEPの設定が間違えている場合があります。WEP機能を利用する場合には、同じ暗号キー同士の機器でしか接続できません。WEP機能を利用している場合にはWEPキーの設定が同じか確認してください。

ドライバが正常にインストールされ、LINK LEDも点灯しているがネットワーク経由でアクセス出来ない。通信しようとしているコンピュータが通信プロトコルでTCP/IPを使用しているか確認してください。本製品をWindowsCE機で利用する場合にはTCP/IPプロトコルでの使用になります。

ネットワーク経由でDOS/V機と同期するには「プライマリWINS」の設定が必要です。ネットワークの設定から「プライマリWINS」に同期させるDOS/V機のIPアドレスを入力します。

ESS IDが違っている場合があります。ESS IDを設定している場合には同じESS IDの機器同士でしか通信できません。ESS IDが接続先と同じ値になっているか確認してください。

ドライバが正常にインストールされ、LINK LEDも点灯しているがネットワーク経由でインターネットにアクセスできない。

IPアドレスが正しく設定されているか確認してください。IPアドレスの設定が間違えていると通信できません。

DNS（ドメイン・ネーム・サーバー）及びデフォルトゲートウェイの設定に問題がないか確認してください。ネットワークの設定を開いて、設定されている値に問題がないかネットワーク管理者に問い合わせてください。

アダプタを取り付けてコンピュータを立ち上げたが、アダプタが検出されない。

本製品をPCカードとして使用するにはCF-PCM2が正しく接続されている必要があります。本製品とCF-PCM2が正しく奥まで差し込まれているか確認してください。

本製品はPCMCIAスロット用アダプターカードです。PCMCIAアダプターが正常にインストールされていない場合は、検出されません。デバイスマネージャーの「PCMCIAソケット」の中にあるデバイスが正常に動作しているか確認してください。「！」マークなどが付いて正常に動作していない場合はご使用のコンピュータのメーカーにお問い合わせください。

デバイスマネージャーの「その他のデバイス」の中に「PCI Ethernet Controller」が入っていないか確認してください。入っている場合は削除してからコンピュータを再起動してください。

Windowsのデバイスマネージャーでアダプタに「！」マークが表示される。

リソースの競合の可能性があります。デバイスマネージャーからアダプタのプロパティを開き、[リソース]タブを開きます。リソースが競合している場合は、競合しているデバイスのリソースを変更してください。また、取り付けているスロットを変更した場合に競合が解消される場合もありますので、取り付けるスロットを変えてみてください。

ドライバがのインストールが正常に終了していない可能性があります。

一旦、デバイスを削除してからコンピュータを再起動して、ドライバをインストールしなおしてください。

ドライバが正常にインストールされているがLINK LEDが点灯しない。

ネットワークタイプが正しく設定されて無い場合があります。接続したい相手に合わせたネットワークタイプを選択してください。アクセスポイントが接続先の場合にはインフラストラクチャモードに、コンピュータが接続先の場合にはアドホックモードに設定してください。

通信速度が合っていない場合があります。通信速度が接続先と同じ設定になっているか確認してください。

チャンネルが合っていない場合があります。アドホックモードの場合には通信相手と同じチャンネルに設定する必要があります。同じチャンネルに設定されているか確認してください。

WEPの設定が間違えている場合があります。WEP機能を利用する場合には、同じ暗号キー同士の機器でしか接続できません。WEP機能を利用している場合にはWEPキーの設定が同じか確認してください。

ドライバが正常にインストールされ、LINK LEDも点灯しているがネットワークコンピュータを開いてもコンピュータの一覧が表示されない。

Windowsの起動時に正常にログインしているか確認してください。ログインするときにユーザー名とパスワードを正確に入力してください。

通信しようとしているコンピュータと同じ通信プロトコルを使用しているか、確認してください。ネットワークのプロパティからインストールされているプロトコルを確認してください。

ネットワークのプロパティを開いて「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、インストールしてください。

ESS IDが違っている場合があります。ESS IDを設定している場合には同じESS IDの機器同士でしか通信できません。ESS IDが接続先と同じ値になっているか確認してください。

ドライバが正常にインストールされ、LINK LEDも点灯しているがネットワーク経由でインターネットにアクセスできない。

TCP/IPプロトコルがインストールされているか確認してください。インターネットへのアクセスにはTCP/IPプロトコルが必要です。ネットワークのプロパティを開いて、インストールされていない場合はインストールしてください。

IPアドレスが正しく設定されているか確認してください。IPアドレスの設定が間違えていると通信できません。

IPアドレスが自動取得の場合はアドレスが正常に取得できているか、確認してください。スタートメニューからファイル名を指定して実行を選択して、winipcfg と入力して [OK] をクリックしてください。現在のIPが表示されます。ネットワーク管理者に取得しているIPアドレスに問題ないか確認してください。

DNS (ドメイン・ネーム・サーバー) 及びデフォルトゲートウェイの設定に問題がないか確認してください。TCP/IPのプロパティを開いて、設定されている値に問題がないかネットワーク管理者に問い合わせてください。

アダプタをインストールするとWindowsの起動が遅くなる。

IPアドレスを自動取得する設定になっており、ネットワーク上にDHCPサーバが存在しない場合に発生する事があります。TCP/IPプロトコルでネットワークを構成されていない環境でしたら、ネットワークのプロパティからTCP/IPを削除していただくか、もしくは適当なIPアドレスを設定してください。

アダプタのインストール後、Windowsの起動時に文字化けのようなメッセージが表示されたり、「ファイルが読み込めない」というエラーメッセージが表示される。

ネットワークコンポーネントが正常にインストールされていない可能性があります。ネットワークのプロパティから「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」を一旦削除してから、再度インストールしてください。

仕様

< 準拠する規格 >

IEEE802.11/802.11b、ARIB STD-33A/STD-T66準拠、コンパクトフラッシュ規格 rev.1.4準拠、PCMCIA 2.1/JEIDA 4.2 互換

< バス・タイプ >

コンパクトフラッシュ Typell

< 転送速度 >

1/2/5.5/11Mbps

< 周波数帯 >

2.4 ~ 2.497GHz

< チャンネル数 >

14ch

< 通信距離 >

11Mbps時30m 5.5/2/1Mbps時90m(屋内使用時、見通し距離)
環境により上記距離を満たせない場合があります。

< アンテナタイプ >

PIFA

< 変調方式 >

CCK(11Mbps、5.5Mbps)

DQPSK(2Mbps)

DBPSK(1Mbps)

< LEDインディケータ >

Power、Link

<消費電力>

+ 3.3V 380mA

<外形寸法>

84mm(L) × 61mm(W) × 12(H)mm

<重量>

50g

<動作温度>

0 ~ 40

<動作湿度>

35 ~ 85%(結露しないこと)

<EMI>

FCC Part 15 Class B, CE

MEMO

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	11Mbps 無線LAN コンパクトフラッシュアダプタ
型番 Product No.	GW-CF110
製造番号 Serial No.	

ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。

ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。

お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

◎初期不良・修理の手順（センドバック方式）

弊社は、センドバック方式による初期不良・修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、下記サポートセンターまでご連絡ください。受付番号を発行いたします。
ブラネックスコミュニケーションズ(株)
サポートセンター フリーダイヤル0120-415977
2. 受付番号を明記の上、本製品及び保証書を弊社リペアセンターまでお送りください。
(誠に勝手ながら、修理品発送の際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。)
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

保証書

● 弊社の保証規定を必ずご覧ください。 ●

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1年間
製品名 Product name	11Mbps 無線LAN コンパクトフラッシュアダプタ
型番 Product No.	GW-CF110
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都府 道県
TEL	— — 内線
FAX	— —
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	
----------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。
なお弊社ホームページにてユーザー登録を行って
いただいていない場合には、
一切のサポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

受付時間：月曜日～金曜日（祭日は除く）

10:00～12:00・13:00～17:00

FAX：03-5614-1018

ユーザー登録：<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記Webサイトで行っておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL:info-planex@planex.co.jp

プラネックスコミュニケーションズ株式会社